

# 生田緑地の自然帳

～生田緑地の自然情報をお届けします～

生田緑地自然環境保全管理会議事務局 044-933-2063

第1号発行のご挨拶

## 生田緑地 自然環境保全管理会議 通称「自然会議」とは

生田緑地の生物多様性保全を目的とする協働のプラットフォームのことで、会員団体がこれを実践しています。合議による植生管理計画を策定し保全管理を行う方法で、生田の自然環境を市民の財産として持続可能なものとしていきます。

### 会長からのメッセージ

会長 磯谷達宏（国士舘大学 文学部 史学地理学科）

この通信に注目して下さった皆さんは、生田の自然について知ることに、多少なりとも興味を持たれているのではないかと思います。今回から発信することになった『生田緑地の自然帳』では、そのような皆さんの興味を少しでも満たせるように、生田緑地の自然についての情報を、できるだけわかりやすい形で発信していくことになりました。この通信をきっかけとして、生田の自然についてより一層の興味をもっていただけたなら、私たち自然会議のメンバーは、とてもうれしく思います。

私たち自然会議のメンバーが保全管理活動を行っている生田緑地には、かつて農村だった頃の生田の一带に広がっていた生きものたちや、それを支える土地の自然が、とても「凝縮」された形で残されています。このような生田の自然に興味をもってもらい、さらにその興味を広げてもらえたなら、皆さんにはさらに日本中・世界中の自然を「見て」「知って」「理解して」「楽しんで」いける、とても豊穡な世界が広がっていくのではないかと期待されます。今回新たに発信される『生田緑地の自然帳』が、そのようなきっかけとなってくれることを願っています。



参考図書は  
青少年科学館で  
販売中！



比べてみよう！

見分けのポイントを押さえたら、あなたも樹木博士！  
今回は、雑木林の代表種。ブナ科コナラ属の2種を比べてみよう。

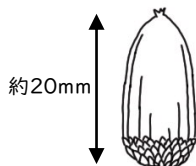
コナラ

川崎市では幸区  
以北で自生種が  
見られます。

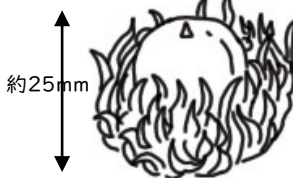
クヌギ

生田緑地では、  
コナラも含め  
緑地内で拾った  
どんぐりから苗木  
を育て、緑地内に  
植えている場所が  
あります。

初級 実



どんぐりをつつむ  
殻斗（かくと）には  
鱗の模様がある。



殻斗（かくと）には  
太い毛がついている。

中級 葉



葉の裏は白い。  
長さ7-15cm、  
幅は葉先に近い部分  
で最大（5cm前後）  
になる。



葉の裏は緑色。  
長さ7-15cm、  
幅はコナラより細長く、  
2-4cm。

上級 樹皮



灰白色。  
縦に裂ける。  
白黒のしま模様  
に見える。



縦に深く裂ける。  
裂け目の底部は  
橙色を帯びる。



## 生田緑地の自然史、いま、揺らぐ

皆さんは既に目にしているでしょうか。

樹木が夏なのに茶色いな、樹木に粉がついているぞ、茶色は紅葉ではなく枯れ葉の色、粉は虫が入った痕跡です。

今、生田緑地の自然史を揺るがす「ナラ枯れ」という課題に直面しています。ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によりコナラを代表として集団的に枯損する現象です。

関西等では10年以上前から発生していますが、生田緑地では2018年に初めてカシノナガキクイムシを確認し、2020年の調査では約370本の被害木を確認しました。カシノナガキクイムシは、活力の低下したブナ科のコナラ属等に入り込みます。現在、枝折れや倒木の危険がある被害木の伐採を検討しています。

昔からいた在来種であるカシノナガキクイムシ。近年急増した背景を探ってみましょう。



蝕まれたコナラのフラス(木くず)



約5mm

カシノナガキクイムシ成虫  
(東北森林管理局HP引用)



### ナラ枯れの背景 かつての雑木林を、知る

生田緑地の雑木林はクヌギ・コナラを主体とした落葉広葉樹林として環境省の特定植物群落「生田の雑木林」(50ha)に指定※されています。

かつての雑木林は15-25年ごとに伐採され、幹や枝は炭や薪として、落ち葉は肥料として役立ってきました。

現在、国内の木炭消費量はピーク時の昭和15年頃と比較し0.5%にまで需要が減りました。若い樹木の活用がなくなり林が老化し、活力の低下した樹木が増えたことで、カシノナガキクイムシの被害が拡大したと考えられています。

※環境省自然環境局生物多様性センターHPより

### 生田の雑木林を、手がける

生田緑地では、15年以上前から雑木林の管理を市民団体が実践しています。取り組みの一部をご紹介します。

①皆伐更新管理(伐採後の若いコナラ林の育成)※:  
(NPO)かわさき自然調査団 里山倶楽部 Aチーム  
(ボランティア)の活動。

※2011年から8年間実施し、現在は完了しています。

里山倶楽部は現在も活動中!市民が生田の自然を楽しめる場です。

②繁殖力の強い植物(アズマネザサ等)の刈込みや  
侵略的外来生物(ニワウルシ等)の駆除

2021年は生田緑地80周年。歴史を振り返ってみよう

コラム

雑木林の過去と今を比較してみると、樹木が太くなっていることがわかります。



1985年(36年前)



現在  
幹周85cm

2021年